

社会学分野

【学士力の考察】（下線部分を修正）

社会学は、社会の変動と構造を探究することから現代社会の構造的問題点を明らかにし、個人と社会さらには地球環境を含めた新たな相互関係づくりに貢献することを使命とする。

現代社会は、一方でグローバル化、情報化のもと、従来の枠組みでは対処できないリスクを抱えており、他方で社会を支えてきた家族・組織・地域社会が形骸化し、個人化や自己責任化の傾向がみられる。

【到達目標 1】（コア・カリキュラムのイメージの下線部分を修正）

【コア・カリキュラムのイメージ】

社会学原論、社会思想、社会学史、理論社会学、社会学研究法、演習など

【到達目標 2】（コア・カリキュラムのイメージの下線部分を修正）

【コア・カリキュラムのイメージ】

アイデンティティ論、コミュニケーション論、エスノメソドロジー、ジェンダー論、差別・逸脱の社会学、環境制約下の社会学など

【到達目標 4】（解説の下線部分を修正）

ここでは、根拠のある分析をするために、妥当性と信頼性に基づいた調査が実施できねばならない。そのために、対象と目的に応じて、質的調査、量的調査などの適切な調査手法を選定・実施し、調査倫理に基づいた実証分析ができるようにすることを目指す。